

まちづくり交付金 事後評価シート
駅西地区

平成22年3月

栃木県那須塩原市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	栃木県	市町村名	那須塩原市	地区名	駅西地区		面積	70ha
交付期間	平成17年度～21年度	事後評価実施時期	平成21年度	交付対象事業費	4,419百万円	国費率	0.4	

1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名					
	基幹事業	・道路(駅西口広場、中央通り、桜通り疏水整備事業、市道211・341号線整備、市道幹Ⅱ-6号線整備、太夫塚公園道路整備)、・公園(太夫塚公園)、・地域生活基盤施設(まちなか公園、駅西口駐輪場)						
	提案事業	・まちづくり活動推進事業(まちづくり活動支援事業、まちづくりイベント支援事業、中心市街地活性化事業、商店街活性化推進事業)						
	事業名			削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	当初計画から削除した事業	基幹事業	・公園(ふれあいスペース整備) ・バリアフリー環境整備事業(人にやさしいまちづくり事業)	・整備予定地の取得困難による事業の中止。 ・別事業により実施することになったため事業の削除。		影響軽微		
	提案事業	・事業活用調査(ゆつくりぐるりバス調査事業)	・市営バス全体の調査検討を行うことになったため事業の削除。		影響軽微			
	新たに追加した事業	基幹事業	・道路(市道幹Ⅱ-7号線整備) ・道路(市道411号線整備) ・道路(市道409号線取付工事) ・地域生活基盤施設(駅西口広場観光情報板整備) ・地域生活基盤施設(駅西口ふれあいスペース整備) ・高次都市施設(西那須野駅東西連絡通路改修工事)	・交通バリアフリー計画に基づく整備路線の追加。 ・中央通りの雨水排水対策にかかる整備路線の追加。 ・中央通りの工事に伴い現道付替を行うため整備路線の追加。 ・駅からの回遊性や利便性の向上に寄与するための追加。 ・街なかの賑わいと集客向上に寄与するための追加。 ・交通バリアフリー計画に基づき通路の改修を行うための追加。		影響軽微		
	提案事業	・事業活用調査(交通量調査)	・まちづくり交付金事後評価の効果分析を行うための追加。		影響なし			
交付期間の変更	当初	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響						
	変更							

2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	目標達成度					
	指標1	地区内歩行者数	人/日	700	H16	800	H21	800	○	ありなし	駅西口広場整備の完了や市街地再開発ビルのオープンにより年度末には目標達成と判断した。	平成22年9月頃
	指標2	地区内空き店舗数	軒	67	H16	60	H21	53	○	ありなし	基盤整備の進捗が交通の利便性や商業活性化に寄与し、空き店舗の減少につながった。	平成22年4月頃
指標3	イベント回数	回/年	0	H16	5	H21	5	○	ありなし	榊まちづくりにしなすのが主体となり企画運営及び自主的にイベントを開催したことによる。	-	

3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	目標達成度※1				
	その他の数値指標1										
	その他の数値指標2										
その他の数値指標3											

4) 定性的な効果発現状況

- ・駅西口広場(市道幹Ⅱ-7号線)の無電柱化により、景観の形成や快適な歩行空間の整備が図られた。
- ・駅前商店会を中心としたバリアフリー整備の先進地視察等により住民の合意形成が図られ、交通バリアフリー整備構想に基づいた県道西那須野停車場線の整備に着手することができた。
- ・榊まちづくりにしなすのと市民グループの協働により、地域のイベントや店舗情報を発信する場として、インターネットラジオ局が開設された。
- ・この街の商人が創る楽しい時間と空間の発信を目的に様々な業種が参加・企画し販売などを行うイベント「ビューティフルサンデー」が定期的に開催され、中心市街地の集客力アップ＝地域活性化に貢献している。

5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等	
	モニタリング	-	都市再生整備計画に記載し、実施できた		-	
	住民参加プロセス	・西那須野駅周辺まちづくり協議会 ・桜通り意見交換会、桜通り懇談会	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			今後も、関係機関との連携を図り、地域住民が参加するまちづくりの取り組みを推進していきたい。
持続的なまちづくり体制の構築	・まちづくり活動推進事業	都市再生整備計画に記載し、実施できた			今後も榊まちづくりにしなすのとの連携・協調を継続しつつ、民間が主体となって取り組む中心市街地の活性化を推進していきたい。	

様式2-2 地区の概要

駅西地区(栃木県那須塩原市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標『歩いて生活を楽しめるまちにしなすの』 目標①中心市街地を使いこなす…特色を活かした活性化 目標②人が集まるシステムづくり…人が集まる持続的な活性化 目標③全ての人にやさしい…安らぎ、愛着を持てるような活性化	地区内歩行者数	単位：人/日 700 H16	800 H21	800 H21
	地区内空き店舗数	単位：軒 67 H16	60 H21	53 H21
	イベント回数	単位：回/年 0 H16	5 H21	5 H21

■道路 市道幹Ⅱ-6号線整備

■道路 太夫塚公園道路整備

■公園 太夫塚公園

■地域生活基盤施設 まちなか公園

■道路 市道211・341号線整備

○西大和地区再開発事業

■道路(街路) 桜通り疏水整備事業

■地域生活基盤施設 駅西口駐輪場

○国道400号大田原・西那須野ハイパス整備事業

○人にやさしいまちづくり事業 エレベーター設置

□まちづくり活動推進事業 (まちづくり活動支援)

□まちづくり活動推進事業 (まちづくりイベント支援)

□まちづくり活動推進事業 (中心市街地活性化事業(TMO関連))

□まちづくり活動推進事業 (商店街活性化推進事業)

□事業活用調査 (交通量調査)

○まちづくり活動推進事業 (商店街活性化推進事業)

■道路(街路) 中央通り整備事業

■道路 市道411号線整備

■道路 市道409号線取付工事

■道路 駅西口広場

■地域生活基盤施設 駅西口ふれあいスペース整備

■道路 市道幹Ⅱ-7号線整備

■地域生活基盤施設 駅西口広場観光情報板整備

■高次都市施設 西那須野駅東西連絡通路改修工事

道路: 駅西口広場

道路: 市道幹Ⅱ-6号線整備

地域生活基盤施設: 駅西口駐輪場

道路: 中央通り整備事業

公園: 太夫塚公園

まちづくり活動推進事業: まちづくりイベント支援事業

道路: 市道211・341号線整備

地域生活基盤施設: まちなか公園

まちづくり活動推進事業: まちづくりイベント支援事業

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地の玄関口である駅西口広場については、まちの玄関口にふさわしい施設整備及び交通結節点としての機能強化が図られた。・中心市街地へのアクセス道路及び各拠点周辺の道路整備が図られた。 駅西口拠点地区と市街地再開発事業により完成した再開発ビルを擁する商業拠点地区を結ぶ主要なネットワーク道路の整備が必要である。 地区内の基盤整備に伴って交通の利便性が向上し、空き店舗等の減少に寄与した。・TMO構想に掲げられている「はれたらこちあめならあっちコンサート」開催事業に基づく屋内外のスペース広場が整備された。 買物客の多様なニーズに対応できるよう、地域の特色を活かした空き店舗等の利用促進が必要である。・商店街の活性化を図るため、利用者のための駐車スペースを整備することが必要である。 ㈱まちづくりにしなすのの企画運営により音楽イベントの自主団体が育ち、定期的に開催されるようになった。・桜通り世話人会等により、望ましい道路整備について検討した。 後継者不足による商店会の継続や商業拠点である再開発ビルからの誘客を図る商店会のさらなる体制づくりが必要である。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 主要ネットワークの整備に合わせ、歩道のバリアフリー化や電線の地中化を行い、歩いて楽しめる歩行者空間を確保する。・来街者が街なかを楽しくわかりやすく歩くことができ、全ての人がやさしく感じられるような歩行者支援施設の整備を行う。 駅西口ふれあいスペースや再開発ビル内のアクアス広場で開催されるイベントを支援し、街なかの賑わいを創出する。 駅西口拠点と商業拠点の2拠点地区を結ぶ道路を整備し、よりいっそうの人の流れや賑わいを創出する。・西那須野支所周辺拠点と中心市街地活性化拠点公園を結ぶ回遊路軸を整備し、通学路の安全確保及び人が集まるシステムづくりを構築する。 中心市街地でのイベント及び商店街利用者のための駐車スペースを整備し、来街者の利便性を高め集客効果の向上を図る。 中心市街地が持っている資源や空間などの特色を活かし、空き店舗の改修費用や賃料への助成ならびに産学連携によるアンテナショップやチャレンジショップの整備を行い、中心商店街への集客を図る。 住民主導による中心市街地の賑わいの創出を図るため、行政サイドは㈱まちづくりにしなすのが主体となって行う地域住民との意見交換会の開催、アンケート調査によるモニタリングの実施、パンフレットやホームページ作成等のまちづくり活動への支援を継続する。